

診療科長のご挨拶

昭和大学病院附属東病院 リウマチ・膠原病内科

やじま のぶゆき
矢嶋 宣幸

2020年4月よりリウマチ・膠原病内科の診療科長を務めております。当科では関節リウマチや全身性エリテマトーデスなどの膠原病疾患の患者さんの診療のみではなく、原因不明の発熱や全身の諸症状に対しても診療を行っております。患者さん、近隣の先生方がお困りの際に真摯に対応し信頼していただける診療科を目指してまいります。

また、昭和大学江東豊洲病院、昭和大学横浜市北部病院および昭和大学藤が丘病院にて内科の一部門としてリウマチ膠原病の外来および入院診療を行っており、4病院、力を合わせ、より多くの患者さんに適切な医療を提供できるよう診療体制の充実を図ってまいります。



<Profile>

- 1999年3月 昭和大学医学部卒業
- 1999年4月 昭和大学病院 第一内科
- 2014年10月 福島県立医科大学臨床研究イノベーションセンター 助教
- 2015年4月 京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専門職学位課程
- 2016年4月 福島県立医科大学付属病院臨床研究教育推進部 講師
- 2016年11月 昭和大学病院附属東病院リウマチ・膠原病内科 講師
- 2020年4月 昭和大学病院附属東病院リウマチ・膠原病内科 准教授・診療科長
- 2023年4月 昭和大学病院附属東病院リウマチ・膠原病内科 教授

好きな言葉

桜梅桃李（おうばいとうり）

桜、梅、桃、李（すもも）を示し、他人と比べることなく個々人が自分自身を磨くことが大切、という意

<今後の展望>

当科は、「患者さんを苦しみから解放つ」という理念のもと、人の尊重、積極的なリーダーシップ、知の追求を理念の三本柱として掲げています。診療を中心に据えつつ、それを支える教育と研究（基礎、臨床）の重要性を常に意識するとともに、後輩の育成に力を入れてきました。当科の特徴は、膠原病母性内科および全身性エリテマトーデスへの注力です。特に母性外来では、小児科、産婦人科、助産師と協力し、患者さんの満足度の高い診療を提供しております。さらに、全身性エリテマトーデス専門外来を開設し、より多くの患者さんに診療機会を提供すると同時に、24施設 2050例に及び多施設 SLE コホートを立ち上げ、研究発信を行っています。

京大時代の恩師が「人の泉」という言葉をよく話していました。良質な教育が提供される場所にはより良い医師が集まり、良い医師の集まりが人を集め、さらに輪が大きくなります。泉のように素晴らしい医師が集まってくることが、卓越した診療や研究発信に繋がります。そのためには、良質な教育システムを構築することが重要であり、少しずつ着実に充実させてまいります。

私たちの目指すことは、医学の進歩と共に、一人でも多くの患者さんの苦しみを和らげることです。患者さんにとって最善の臨床提供、臨床応用研究の推進、そして国際化に目を向けた人材育成に、これからも全力を尽くして参ります。私たちの活動が、患者さんや医学界にとって有益な成果に寄与すればと願っております。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫しております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について



今月は「1年目 クオリティマネジメント課 事務職員」をご紹介します。

なぜ昭和大学を目指しましたか？

昭和大学ではジョブローテーションを通じて幅広い分野を学べると考え、志望いたしました。病院、法人、学事と様々な業種、人と関わりを持つことで自身の成長に併せて、多くの人の役に立ちながら社会的意義をもって働くという自身の目標と合致していた点も魅力に感じました。

現在、どのような業務をしていますか？

医療安全部門として、各種委員会資料の作成や運営、外部監査への対応、医療安全に関連した情報を職員に周知する等の業務を行っております。
1年目から多職種と関わる機会が多くあり、やりがいを感じながら業務に取り組んでおります。

今後、どのような事務職員を目指しますか？

私は学生・職員が安心して活動できる環境を作れる事務職員を目指しています。

まだわからないことが多く、先輩方にはご迷惑をかけてばかりですが、自身で考えて実行できる事務職員として医療や教育の発展に貢献していきたいと考えております。

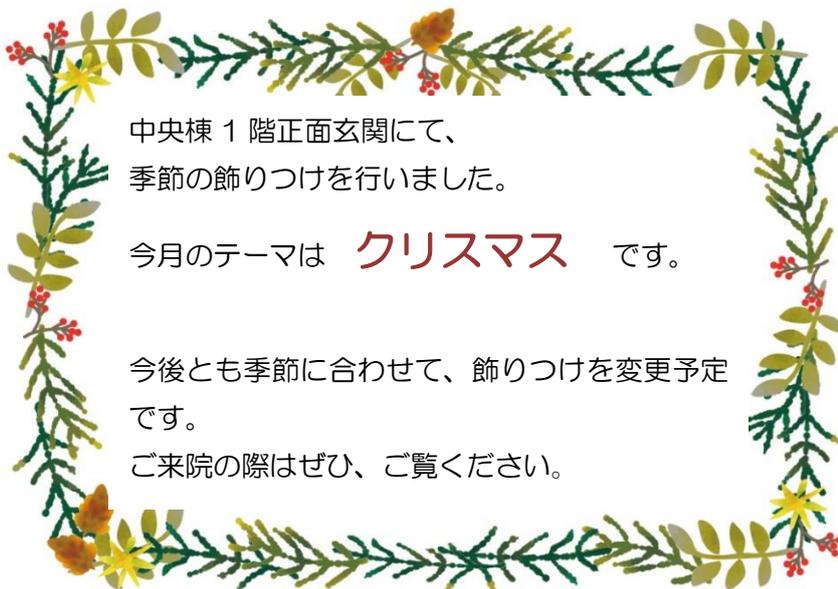


管理課事務職員の同期と



トピック

クリスマス飾りつけお知らせ



中央棟 1階正面玄関にて、季節の飾りつけを行いました。

今月のテーマは **クリスマス** です。

今後とも季節に合わせて、飾りつけを変更予定です。

ご来院の際はぜひ、ご覧ください。

令和6年度11月24日(日)に、昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院において防災訓練を実施しました。本訓練は、東京都より指定されている災害拠点病院としての役割（災害発生時に24時間体制で被災した傷病者を受け入れる役割など）を担うべく、災害時の初動等に重点をおいて実施されているものです。震度5強の地震が発生したことを想定して行いました。

病院長を中心に、災害対策本部を設置し、院内外の情報収集や模擬患者の初療対応などの訓練を実施いたしました。

昭和大学病院だけでなく、昭和大学法人部門・品川区との連携訓練や、町内会・荏原消防署・荏原医師会の方々にもご参加いただくなど、多くの方々にご協力いただき、有意義な訓練を実施することができました。

また今回は、地域との連携を強め、災害対策の意識向上を目的に、当院の取り組みを品川ケーブルテレビの取材を受け、発信予定です。（放送日は未定のため、決定次第、改めてお知らせさせていただきます。）

今後も、災害拠点病院の役割を果たすべく、万一来て万全の態勢を整えてまいります。



当日の訓練様子



お知らせ

12月17日(火) がん患者サロン開催のお知らせ

はたのだい がんサロンでは当院に通院する患者さんおよびご家族を対象として開催しております。

サロンでは毎回専門スタッフによるセミナーを30分ほど実施した後、後半は患者さん及びご家族の情報交換の場として、ご参加いただいた方々が自由にお話しいただける歓談の機会を設けております。

似た境遇にいる方同士でお話しをしていただくことで、少しでも不安や悩みの軽減につながればと考えております。

※当院通院中のがん患者さんとそのご家族のみ参加可能です。

※原則事前申し込み制となっております。

お問い合わせ先

昭和大学病院 管理課 TEL：03-3784-8515

こちらの QR コードよりお申込みいただけます。



昭和大学病院 主催

自分らしく生きるための緩和ケア

緩和ケア
ケアってなに？

治療と緩和ケア
アッて
両立できるの？

緩和ケアはどこで
受けられるの？

緩和ケアの医師とお話ができます
からだや心の苦痛を取り除くケアがあります…

家族ができることって何でしょうか？

参加無料！



途中参加
途中退席OK！

はたのだいがんサロン



日時：2024年12月17日(火曜日) 15時～16時半

場所：昭和大学50周年記念館 2階会議室

対象：当院通院中のがん患者さんとご家族対象

申込方法 原則事前申し込み制

※QRコードまたはお電話でお申込みください

※事前申し込みをされていない方も当日参加可能です

問い合わせ先

昭和大学病院 管理課

03-3784-8515

トピック

当院行事食のご紹介

当院での食事は、医師の指示により病状にあった献立とし、行事食を取り入れた温かい食事をご提供しております。12月は「冬至」や「クリスマス」を予定しております。今後も季節に合わせた行事食をご提供してまいりますので、その際にはお知らせいたします。

※写真は昨年 の例です。



11月22日（金）、昭和大学病院中央棟正面玄関において、イルミネーション点灯式が行われました。

上條副理事長、小出総括病院担当理事、相良病院長その他、小児科病棟の患者さんも参加しました。全員でスイッチを押すと、一斉にイルミネーションが点灯し、中央棟正面玄関と入院棟1階公開空地の遊歩道が、様々な光で彩られました。

また、点灯にご協力いただいた小児科病棟の患者さんには、相良病院長より、一足早いクリスマスプレゼントが送られました。

ご来院の際には、イルミネーションをぜひお楽しみください。

☆点灯時間☆ 17:00～21:00

☆点灯時間☆ 令和6年11月22日（金）～令和7年2月28日（金）



当日の様子



中央棟正面玄関前

お知らせ

医師の配属・異動・退職について

異動

学外施設へ

●耳鼻咽喉科 川崎正義、●脳神経外科 川内雄太

学外施設から（令和6年12月1日付）

●脳神経外科 中條敬人

附属施設へ（令和6年12月1日付）

●脳神経外科 藤島裕丈（横浜市北部病院へ）、●耳鼻咽喉科 大氣采女（横浜市北部病院へ）

●糖尿病・代謝・内分泌内科 寺居直哉パトリック（江東豊洲病院へ）、●血液内科 橋爪瞭（江東豊洲病院へ）

附属施設から（令和6年12月1日付）

●形成外科 井垣龍（藤が丘病院から）、●産婦人科 原澤孝綱（横浜市北部病院から）

●耳鼻咽喉科 小川誉史（藤が丘病院から）、小児科 岩堀真紀（横浜市北部病院から）

退職

●産婦人科 宮上景子（令和6年11月1日付）

●整形外科 土屋雄揮（令和6年11月30日付）

当取り組みは、昭和大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、**チーム力を高めること**で患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

看護部から栄養科へのありがとう！



栄養科 渡辺さん・葛さん

入院棟 13 階病棟 渡辺さんへ

カンファレンスに参加し、患者さんの情報を共有していただいています。栄養相談が必要な患者さんに迅速に対応していただいています。

【患者さんに与えた良い影響】

患者さんに必要な栄養相談が入院中に円滑に行われています。栄養管理が適切に行え、患者さんの安心・安全な療養生活・退院時に支援につながっています。

入院棟 15 階病棟 渡辺さん・葛さんへ

患者さんの実際の食事の接種状況を確認して、嗜好や嚥下状態に合わせた食形態へスムーズに変更していただきました。

【患者さんに与えた良い影響】

患者さんが少しでも栄養摂取できるよう治療をサポートしてくれています。この他心不全の患者さんへの栄養指導のポイントを看護師にも共有していただいたことで、看護師も生活指導を行う上で大変助かっています。

臨床工学室から看護部へのありがとう！



中央手術室 大村さん

中央手術室 大村さんへ

機器のトラブルが発生した際、冷静に対応していただき、医師や他のスタッフとの調整も迅速に行ってくださいのおかげで機器の修復がスムーズに進み、無事に手術を続けることができました。大村さんは機器の扱いに詳しく、私たちが何を必要としているかすぐに理解してくださるので、大変心強かったです。

【患者さんに与えた良い影響】

お互いに協力し合いながら、チーム全体がひとつになって患者さんに最高の医療を提供できていると感じています。

中央棟 6 階 ICU 久松さんへ

日常の ICU での業務の中で CRRT(持続的腎代替療法)や小児 ECMO(体外式膜型人工肺)の管理において、久松さんが常に機器の状態や患者さんの反応に気を配っていただき、私たちが適切な機器管理を行う上で大きな助けとなっています。

【患者さんに与えた良い影響】

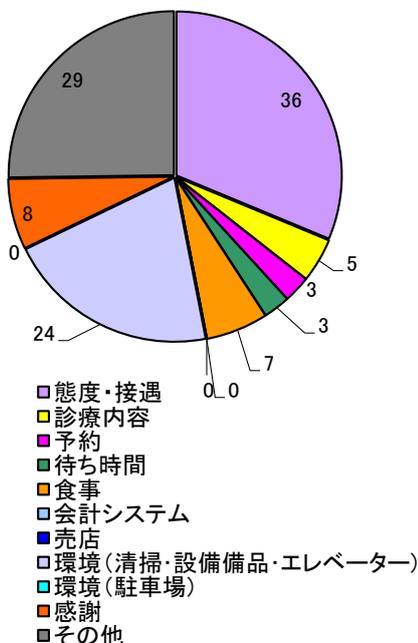
私たち臨床工学技士と連携して迅速に対応してくださることによって患者さんの命を守るためのチーム医療を実践できていると思いました。



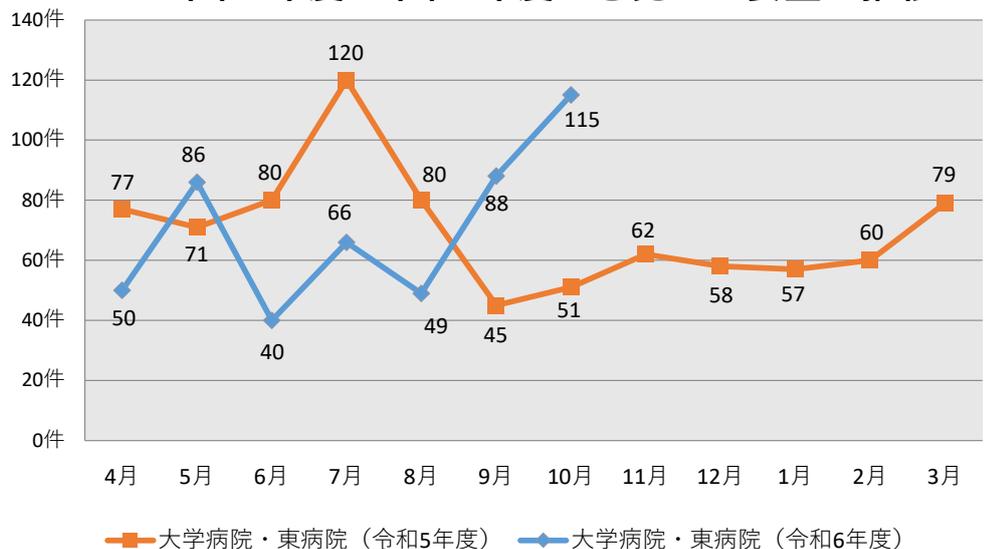
日頃よりチーム医療にご協力頂きありがとうございます。今後とも、よろしく願いいたします。

ご意見・ご要望	回答	回答部署
<p>トイレに手荷物フックを取り付けて欲しい。</p>	<p>このたびは、ご不快な思いをさせてしまい、申し訳ございません。ご意見を踏まえ、荷物をかけていただけるフックを設置いたしました。貴重なご意見ありがとうございました。</p>	<p>施設課</p>
<p>手術前になぜ歯科検診をする必要があるのかを担当医師に質問。「いつもより念入りに歯を磨いて、よく運動して栄養のあるものを食べて良く寝て手術に備えてください。体力をつけておくことが術後の回復には大切なんです」と仰いました。 手術前、不安だけがまず状態だったところを明確に「健康的な生活をして体力をつけて手術に備えて」と言われ、自分の取り組み課題を明確に出来ました。 その結果、術後の回復が順調で予定よりも早く退院出来ました。あの言葉を聞かなかたら、毎日念入りに歯を磨くことも毎日ウォーキングをしようとも思わなかったかもしれません。 手術に向けてどのように自分の調子を整えるか、を自覚させてくださった先生に心から感謝します。</p>	<p>このたびは心温まるご意見をいただき誠にありがとうございます。病院歯科が皆様の健康をサポートすることを心掛けて一層努力してまいります。</p>	<p>病院歯科</p>

令和6年12月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
115件



令和5年度・令和6年度ご意見・ご要望の推移



寒さが時々刻々と厳しさを増していくこれからの季節に向けて、昭和大学病院・昭和大学病院附属東病院では建物内の空調設備を冷房から暖房運転に切り替えます。その暖房運転の要となるのが高温の蒸気を発生させるボイラー設備です。そのため、冬場の主力熱源として日々稼働し続けるボイラー設備に携わる職員の健康と安全を祈願して毎年、この時期には“ボイラー祭”を執り行っております。ボイラーの本格的な稼働にあたって、機器の安全運転と職員の健康を祈願する神事を今年度も執り行いました。



編集後記

糖尿病・代謝・内分泌内科 教授 ^{やまぎし しゅういち}山岸 昌一

今年も気がつけば、もう師走。少し落ち着きは見せているものの、コロナやインフルエンザなどの感染症が気になる季節になってきました。しかし、町のあちこちには、イルミネーションが点りととても華やいで気分させてくれます。皆様方にとって今年はどうな年でしたでしょうか。皆様方のご健康を祈念しつつ、来年もしっかりとした医療情報を提供できるよう努めて参りたいと思っております。



昭和大学病院

検索



昭和大学病院附属東病院

検索

発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者 昭和大学病院長 相良 博典
編集責任者 広報委員長 山岸 昌一
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
TEL：03-3784-8000（代表）

昭和大学病院・附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について